

事後学習（ 年 月 日 ）

世界遺産や明治日本の産業革命遺産、

「三池炭鉱宮原坑・専用鉄道敷跡」を学んで、自分の考えをまとめよう

現地で学んだことを思い出しながら、印象に残ったものを描いたり、写真やパンフレットを貼ろう。



現地で学んだことを通して、見聞きしたことや自分の意見や疑問を書き込み、自分の考えをまとめよう。



世界遺産「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼・造船・石炭産業」

# 学習ノート

～三池炭鉱宮原坑・専用鉄道敷跡編～



三池炭鉱宮原坑

世界遺産とは、地球上にある歴史的な建造物や遺跡、人間が生み出すことができない自然景観や地形などの「人類共通の宝物」のことです。私たちは、この宝物を国や民族を越えて、後世に守り伝えなければなりません。

福岡県には、2015（平成 27）年に登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」と 2017（平成 29）年に登録された「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の2つの世界遺産があります。

このワークブックでは、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」について学びます。



学校名：

年 組 番 名前

事前学習 ( 年 月 日 )

「明治日本の産業革命遺産」について調べよう



「明治日本の産業革命遺産」とは

- 「明治日本の産業革命遺産」は、最初に ( ) で始まった産業革命が、ヨーロッパやアメリカ以外の地域で初めて成功したことを示しています。
- 日本では、( ) 時代の終わりから明治時代にかけて、外国の技術を学び、また、自分たちで技術を改良し、約( ) 年という短期間で、重工業(製鉄・製鋼(鉄をつくること)、造船(船をつくること)、石炭産業(燃料となる石炭を掘ること)を発展させました。
- 「明治日本の産業革命遺産」は、8県11市に広がる( ) かの施設の施設などを一つにまとめたものです。
- 2015(平成27)年、( ) で初めて、今でも動いている工場を含む世界遺産が誕生しました。

福岡県の「明治日本の産業革命遺産」について

- 福岡県には、( ) 市に「官営八幡製鐵所」、( ) 市に「遠賀川水源地ポンプ室」、( ) 市に「三池炭鉱・三池港」があります。
- 「官営八幡製鐵所」と「遠賀川水源地ポンプ室」は( ) に関する施設、「三池炭鉱・三池港」は( ) に関する施設があります。

資料(ホームページ、パンフレットなど)から気になった言葉や関心を持ったことを書き、話し合おう。

現地学習 ( 年 月 日 )

「三池炭鉱宮原坑・専用鉄道敷跡」について、現地で学んだことや気づいたことを書こう。

- 1 三池炭鉱は、日本で2番目に( )された炭鉱で、( )の最先端の機械が導入され、大量の石炭が掘り出されました。
- 2 1898(明治31)年に開坑した三池炭鉱宮原坑は、石炭を掘り出すだけではなく、坑内で湧き出る( )を汲み出す役割もありました。
- 3 日本に残る炭鉱施設の中で一番古い( )製の第二竖坑の櫓は、高さが約22メートルもあり、そばにある( )で建てられた巻揚機室で操作しました。
- 4 専用鉄道敷跡は、1905(明治38)年に全線開通しました。坑口や工場と三池港を結び、石炭や炭鉱資材などを運んだ鉄道の跡で、その長さは約( )kmにもおよびました。

現地で見たことや聞いたこと、気づいたことから感じた特徴などを書こう。

	特徴	感想
見たこと		
聞いたこと		
気づいたこと		